

マーケットの動き（2021年5月10日～5月14日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利が上昇しました（債券価格は下落）。週初は、7日の米国雇用統計の市場予想比下振れによって金利が低下する場面もありましたが、米国消費者物価指数の発表を12日に控え、インフレ懸念が台頭し、米国国債金利は上昇しました。

ドイツ国債市場は、好調な経済指標やPEPP（パンデミック緊急購入プログラム）減速の懸念もあり、金利が上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2021年5月）

長期金利は、米国では上昇圧力がかけやすく、欧州（ドイツ）では小幅の上昇

米国：長期金利は、新型コロナウイルスのワクチン接種ペースの加速、政府による大規模な財政出動から景気回復とともにインフレが加速するとの見方に加え、国債増発による需給悪化懸念もあり、引き続き上昇圧力が強まりやすいとみています。

欧州：基本的には米国の金利動向に影響を受けるとみられますが、新型コロナウイルスの感染再拡大によって行動制限が長期化するとの見方もあり、ドイツ長期金利は小幅の上昇にとどまるとみています。

	5月14日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	1.63	0.07	▲0.00	0.73	1.02
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	503.67	0.14%	0.54%	2.53%	6.35%

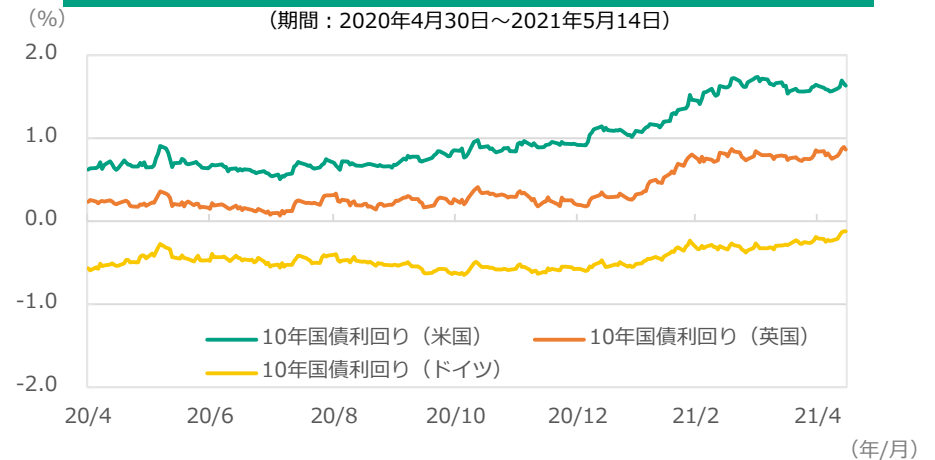
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

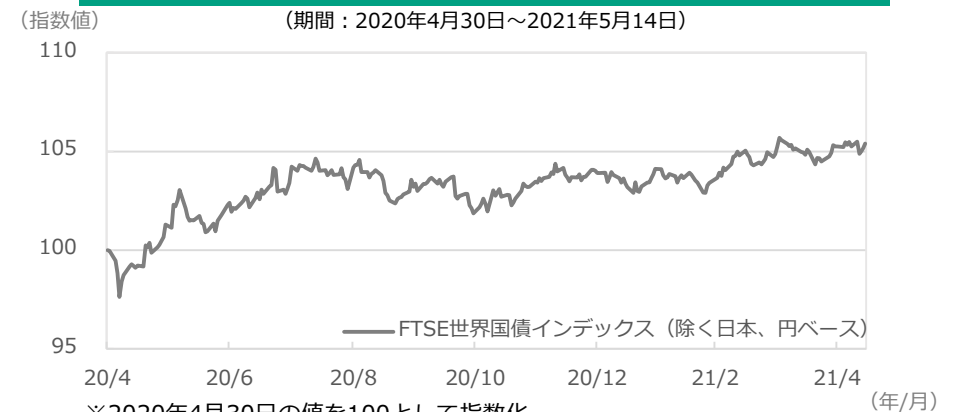
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202105_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債インデックスの推移



※2020年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成